

今、「ふるさとウェディング」がトレンドに

名称 第1回ふるさとウェディング・コンクール

目的 「ふるさとウェディングの全国的普及」

主催 NPO法人全日本ブライダル協会

後援 観光庁 ブライダル産業新聞社

東日本大震災後、「家族や身近な人との絆」を第一に考えるカップルが急増し、ふるさとウェディングへの感心が高まっています。結婚式当日は自宅で花嫁衣裳に着替え、両親に娘として最後の挨拶をし、近所の方たちに祝福されて旅立つ。幸せに満ちた美しい花嫁を見る機会が増えれば、若い人たちに結婚式への憧れが芽生え、少子化、婚姻率の低下に歯止めをかけるきっかけになると確信します。利便性だけが先行した従来の結婚式離れが始まっている昨今、心や絆を大切にしたい、地域の魅力を生かした「ふるさとウェディング」が待ち望まれています。観光庁後援のもと、NPO法人全日本ブライダル協会では、「ふるさとウェディング」の社会的風潮を高めていくため「ふるさとウェディングコンクール」を実施いたします。魅力ある「ふるさとウェディング」の作品をお待ちしております。



募集内容

テーマ ふるさとウェディング/地域の魅力を活かした挙式スタイル
[市民結婚式(シビルウェディング)、神式、仏式、キリスト教、一般人前式 —ふるさと色が出ていれればいずれでもよい]

応募資格 ふるさとウェディングを実施した企業・団体

応募方法 ① 実際の結婚식을30分以内に編集したDVD

② 当該挙式の基本プラン、スケジュール、決算書、写真、レポート

※DVDは、当コンクールの目的以外では使用いたしません。実際の結婚式の場合、ご両家の了解を取るようお願いします。なお、応募作品のご返却はいたしませんので、その旨ご了承ください。※連絡先として携帯電話番号等明記のこと。

募集期間 2012年6月15日(金)締切り

審査基準

- ① 家から花嫁支度をし、近所の人、町、村の人に挨拶して出発する
- ② 地域の名所、旧跡、公園など、式場が工夫されている
- ③ 地域独特の風習(仏壇参り、花嫁のれん、船乗り入れなど)を生かしている
- ④ 披露宴での食事メニューに地域の物産を取り入れている
- ⑤ 引き出物に地域の伝統工芸品や民芸品などを取り入れている

(注)①～⑤すべてに該当しなくても、何項目かに該当すれば可。また、①も家以外の場所でもかまいません。

審査員 桂三枝(落語家) 假屋崎省吾(華道家) 桂由美(デザイナー) 志村格(観光庁観光地域振興部長)

審査発表 2012年6月末日 **表彰式** 2012年7月11日(水) (『ブライダル産業フェア』にて受賞作品DVDを上映)

表彰 観光庁長官賞 1企業・団体 副賞50万円 記念杯 審査員特別賞 3企業・団体 副賞10万円 記念杯

問い合わせ

NPO法人 全日本ブライダル協会

〒107-0062 東京都港区南青山1-15-18 リーラ乃木坂8階 TEL03-5413-1778 FAX03-5413-0707